

# 学校における緊急時（アナフィラキシー発症時等）の対応シート

## 平時からの備え（全教職員に徹底すること）

■各学校に「食物アレルギー対応委員会」（アレルギー対応について検討する会議）を設置する。

メンバー：校長、副校長、養護教諭、食物アレルギーをもつ児童・生徒の学級担任、栄養教諭、学校栄養職員、食育リーダー

想定される場面：①給食

②食物・食材を扱う活動（図工・美術、家庭科、特別活動、生活科、行事等）

③校外学習、宿泊行事

④運動（体育、部活動等）

(1)対象者の把握と対応決定

①「学校生活管理指導表」に関する情報共有

②「緊急時対応カード」の準備と保管場所の共有

③エピペン®の保管場所の確認。原則、児童・生徒の通学カバン等とする。

※2本処方してもらい、1本は本人保管、1本は学校保管とする対応も有効

(2)全体での取組

①アナフィラキシー症状の理解など校内研修の定期的な実施（エピペン®トレーナー実習を含む）

②ヒヤリハット事例の検証

③校内訓練の定期的な実施

## ◆教職員の役割分担と複数人配置。シミュレーションの実施

緊急時に各教職員が具体的に何をするか決めておく。

教職員	主な役割
リーダー	・教職員への指示
連絡する係	・人を集める ・保護者、主治医への連絡 ・救急車要請（119番通報）
準備する係	・内服薬、エピペン®準備 ・AED準備
記録する人	・症状、対応を記録
その他応援教職員	・他の児童・生徒対応 ・AED心肺蘇生 ・救急車誘導 など

### <<役割分担のポイント>>

■ 管理職は、状況を把握、分析して対応を決定する。

■ 児童・生徒のケア、救急車の要請をする者など短時間で対応できるよう複数に分担する。

■ 管理職、養護教諭、担任がそれぞれ不在の場合も想定して役割分担を作っておく。

■ エピペン®は誰でも使用できるようにしておく。

## ◆速やかな救急車要請。■市立病院への相談 小児科医緊急コール TEL 581-2677「内線3089」

### 児童・生徒の緊急を要する症状の把握

日頃から保護者と主治医との、どの症状の時に救急搬送すべきかなどの情報を共有し、確認しておく。

### 救急車要請（119番通報）のポイント

①「救急です。」

②「救急車に来てほしい住所・学校名」を伝える。

③「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」を伝える。

・いつ …給食を食べた後

・だれが…〇年生もしくは〇歳の児童（生徒）

・どのような状態か…呼吸が苦しい状況

・エピペン®処方及び使用の有無

④連絡している人の名前と連絡先を伝える。

※ 向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話をかけてくることがあるため、通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく。

※ 必要に応じて、救急車が到着するまでの応急手当方法などを聞く。

# 【日野市版】

## 緊急時対応のフローチャート

◆緊急時に備えて、それぞれの役割分担を確認しシミュレーションをしておく。

### 緊急時(アナフィラキシー発症時等)の対応のポイント

- ① アレルギー症状があったら、発症後5分以内に対応判断
  - ② 迷ったら、エピペン®を打つ。ただちに119番で救急搬送
  - ③ 患者はその場で安静(立たせたり、歩かせたりしない)
  - ④ 救急搬送したら、市教委にも連絡を
- ※市立病院へ緊急コールによる相談が可能(平日8:30~17:15)

#### 管理職

- ☐ 現場に到着し次第、リーダーとなる
- ☐ それぞれの役割の確認および指示
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDを使用

#### 初期対応

※教職員誰でも対応できるように

#### 応援体制の確保

※校内放送などで応援を呼ぶ際の緊急メッセージを決めておく  
・「

(集合場所)」

※短時間で対応できるように、また、不在の場合も想定して複数で役割分担し同時進行で対応する

#### 発見者「観察」

- ☐ 子供から離れず観察
- ☐ 助けを呼び、人を集める  
(大声、PHS、または、他の子供を呼びに行かせる)
- ☐ 教職員A、Bに「準備」「連絡」を依頼
- ☐ 管理者が到着するまでリーダー代行となる
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 薬の内服介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDの使用

#### 教職員A班「準備」

- ☐ 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を持ってくる
- ☐ エピペン®の準備
- ☐ 内服薬の準備
- ☐ AEDの準備
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDの使用

#### 教職員B班「連絡」

- ☐ ★救急車を要請する(119番通報)
- ☐ 管理職を呼ぶ
- ☐ さらに人を集める(校内放送など)
- ☐ 保護者への連絡
- ☐ 調理室への連絡
- (対応に迷ったときは)
- ☐ 市立病院へ緊急コール相談

#### 教職員C「記録」

- ☐ 観察を開始した時刻を記録
- ☐ エピペン®を使用した時刻を記録
- ☐ 内服薬を飲んだ時刻を記録
- ☐ 5分ごとに症状を記録
- ☐ 記録をコピーし救急隊へ渡す

#### 教職員D班「その他」

- ☐ 他の子供への対応
- ☐ 救急車の誘導
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDの使用
- ☐ 調理室手配表(栄養士、調理室)を準備し、救急隊へ渡す

#### ★エピペン®使用と救急車要請のタイミング

症状が、以下の1つでも該当する場合

- ・ぐったり
- ・意識もうろう
- ・尿や便を漏らす
- ・脈が触れにくいまたは不規則
- ・唇や爪が青白い
- ・のどや胸が締め付けられる
- ・声がかすれる
- ・犬が吠えるような咳
- ・息がしにくい
- ・持続する強い咳き込み
- ・ゼーゼーする呼吸(ぜん息発作と区別できない場合を含む)
- ・持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- ・繰り返し吐き続ける

